



私の夢

山西省・太原市外国語学校 高2（男）

周 峰

「夢」という言葉を言う瞬間、何が考えられるのでしょうか。僕はすぐ思い出されたことが子供の時のことでした。

小学生の時、母がいつも「将来は何になりたいの」と聞きました。僕はいつも「科学家になりたい」と返事をしました。その時の僕は科学家についての話をよく聞いたし、知っていた職業も少なかったし、科学家をえらい職業と思ったからです。

中学校に入ってから、僕は日本語の勉強を始めました。最初は日本に行って日本の進んだ技術を学んで科学家になりたいという考えでしたが、だんだん外交官になりたいと思うようになりました。学んだ日本語も利用できるし、中日関係も改善されるし、いいと思いました。でも、中間テストで、いい成績が取れませんでした。いろいろ努力しましたが、自分の欲しい成績が取れなかったのがっかりしていました。その時、何度もやめようと思ったことがあります。そんな時、先生はやさしく相談のってくれました。「失敗は誰にでもあるでしょう。その失敗を直面してその理由を見つけたら今度はきっと勝ちますよ。そのことがもっとも大切なことですよ」と教えてくれました。その後自信をつけて、自分に相応しい勉強の方法を見つけた僕はそれからの成績がどんどん上がってきました。それは先生のおかげで、先生に感謝する気持ちでいっぱいです。

そのことをきっかけにして、僕の夢がまた変わりました。今の夢は先生になることです。

なぜかというと、やはりそのことの影響です。そのことを通じて、学生にとっていい先生の大切さが分かりました。先生というのは、授業をするだけではなく、困っている生徒を助けるのも義務の一つだと思っています。生徒がいろいろな原因で迷っている時、先生の助けが役に立ちます。生徒の問題を解決したり励ましたり人生のことを教えたりできるからです。それに、先生にはもっとも大切なことがもう

一つあると思います。それは人を育てることです。中国語では、「言传身教」という言葉があります。先生の言葉だけでなく、物事に対する考え方や性格、個性なども知らず知らずのうちに生徒たちに大きな影響を与えるという意味を表しています。だから、整っている世界観がない生徒にとっては、先生からの影響がもっとも大切だと思います。先生にいい影響を与えられたら、生徒もいい人間になるでしょう。だから、先生は生徒にとって欠かせない存在であると思います。そうしたら、先生は国にとっても大切な存在であると思います。国を強くするには、優秀な人材が必要です。それらの子供を育成するためには子供にいい教育を受けさせることが必要です。つまり、国を強くするには、先生も大切な存在であるということです。以上が僕が先生になりたい理由です。

その夢を実現するためには、今は努力が必要です。先生になれるように、まず自分が努力していい大学に入っていい教育を受けていろいろな知識を身につけなければなりません。それに、本もたくさん読まなければなりません。本を読んでいるうちにいろいろな人生のことが分かるからです。更に、もっと大切なことは「思いやり」を持つことです。思いやりというのは他人をよく理解して他人の身になって考えることです。生徒たちと交流するとか、教えるとか、助けるとか、その思いやりが大切だと思います。生徒たちも独立した人間ですから、生徒たちの気持ちさえ理解すれば、もっと上手に生徒に教えたり励ましたり交流したりできると思います。だから、今からその思いやりを持つために、まわりの人や物事に気づかいをしたいものです。

最後に、僕は生徒と友達になれる先生になりたいです。そのために、思いやりだけでなく、人との付き合いも大切だと思います。知識を教えて人を育てるだけでなく、生徒を喜ばせる先生になりたいです。

人にとって夢は欠かせないものだということは誰でも分かっています。しかし、夢はそんな簡単に決まるものではありません。最初の夢は大きくなるにつれて変わるかもしれません。自分も迷ってしまうかもしれません。でも、僕は必ず困難も乗り越えて、自分にもっとも相応しい夢を見つけると信じています。そして、夢はそんなに容易に最後までがんばりぬけるものではありません。途中であきらめた人も多いかもしれません。困難に出会って越えられなくて失敗した人も多いかもしれま

せん。でも、僕はそんなに容易にあきらめる人ではありません。どんな困難に出会っても、最後までがんばろうと思います。将来いい先生になるために、今から一生懸命に努力しようと決心しています。